

このコーナーでは
DELIVERY HEALTH PROJECTの協力店舗へ
インタビューを行っています。

DELIVERY BOYSは毎週木曜日、新宿二丁目にあるバーやクラブに、コンドームを配布したさまざまな性に関するアイデアを配布するプロジェクトです。



デリヘルくんが聞く! 突撃インタビュー!!

Q: デリパリーボーイズ訪問時のエピソード (印象に残っていること、おもしろかったこと等) を教えてください

A: なんかいつも申し訳なくて、こういうBARだから気を遣ってくれる方が多くて、最近では同じ人が来てくれるようになったんですけど、最初の頃とか女性のボランティアの子が来るので「ちょっと女性の方は…」って感じでNGだったり、お客さん来てくれる場合は、みんな脱いでくれるから、そういう時は申し訳ないなと思ってます。
あとは、(お客さんとし)「後で来てね」って帰り際に言っても来てくれない……(笑) とても寂しく思ってます(笑) 来てほしいのに。

Q: 巻物BARについて教えてください

A: あの、うちのDOCKっていう18年やっている老舗の脱ぎエロ系BARの姉妹店なんですけど、新しく開くにあたって色々考えたんですけど、僕がまずパンツを穿く習慣がないので……

デリヘルくん(以下D): え? 普段から穿かないんですか?

孝太郎(以下孝): 穿かない!

D: 今日ノーパンですか???

孝: 穿てない! 疲れちゃうからあんまり穿きたくないし、凄く寒だよ。

D: なるほど! ぼくもノーパンにしようかな……!!

孝: コンセプトなんですけど、コレ(店内にあるマップを取り出す)エロBARマップで、エロBARでしか配ってないんですけど、色んなところを紹介したくて、二丁目って色んな選択があるんだって、その中でも無いものがないなと思ったので、そんなときなかったのがタオルなんですけど、もともとDOCKで本曜日ぼくがやってたときにタオルやエロ本とか何回かやってたので、丁度いいんじゃないかなとも思ってやってみました。はい。

D: ちなみにその巻物BARで、タオルの貸し出しもしてると思ってますけど、持参もありなんですか?

孝: もちろん大丈夫です!

D: 今までの持参してきた巻物のなかで、1番印象的だったものを教えてください。

孝: インフィニティドレスみたいな(笑) わかる? 簡易みたいになって、色んなカタチに変えられるやつなんですけど、オシャレなんですけど、ふざけてんのかなって、売る気ないんだなこの人はって、お笑い担当みたいな(笑)、まあそういう本気すぎない人達のBARなので、なんならサリ〜とかでもいいです。
D: 1枚であればいいんですか?
孝: そう! 1枚で巻けるもので、パバッと取れるものなら。

Q: コンドームをキツカケに会話になることは?

A: あ、いっぱいありますよ! とりえず、コンドームは上のベッドスペースと、シャワーのある部屋に置いてるんですけど、口でコンドームの付け方講座みたいなのをここで見たことがある。めっちゃうまいよ! みたいな感じで(お客さんが)パバッとやって、あそこ〜上手って、みんなであ〜と盛り上がったのはありました(笑)
あとこの前、松本ゆうさんのデザインのコンドームがあったけど、ぼくTwitterで見てもファンだったし、お客さんにもファンの人が出て、結構盛り上がった。海外から来るお客さんが多くて、その人達はコンドームがタダでもらえる事にまずビックリしてたけど、デザインもかわいから、色んな種類を自由に持って帰って使ってますよね。みなさん。
あとこういうBARなので、とても危機意識というか、リテラシーというかがあって、コンドームは使いますよね、みなさん。味がどうとか、使い心地がどうとか……味ってのはよくわからないんですけど、そういう話をしたりしてましたね。
ああ、あとなんかこーいうのとか、あーいうの(ディルドやパイプ)とかにもコンドーム付けて使ってますね。



Q: 孝太郎さん昔、デリパリーボーイズとして活動してましたよね?

A: ありました! 13年前だねアレ、思い出だね。てかまだ続いているのがすごい! ほんとに素晴らしいと思う。

もともと(デリパリーボーイズを)やり始めたのは、学校の課題でドキュメンタリーをつくるっていうのがあって、自分ゲイだから二丁目の活動を取り上げたいなと思って、aktaさんに行って撮らせてもらって、その流れで自分もやりたいなと思って活動に参加したのがキツカケなんだけど、その経験がなかったら、たぶんぼくあんまり活動に対しても詳しくなかったと思うし、うちエロBARだからみんな脱いでるし、冷やかしじゃないけど、ストリートパフォーマンスみたいなもの来るじゃん? 二丁目って、ドア開けていきなり歌い出すみたいなものとか、野菜いかがですか? みたいな(笑)、即で追い出すんですけど、デリパリーボーイズに関しては、立派なことをしてわかってるので、あーどうぞどうぞみたいな感じだし、お客さんにも「この人たちは良い人たちだから」ってちゃんと説明出来るし、活動を知ってるからこそ、お客さんに対して出来る話したいなものもあるかなと思います。

Q: コンドームを置こうと思ったキツカケは?

A: 活動の事を知っていたのもあるけど、もちろんHIVとかSTDの問題に関してはアンテナを張っていて、こういうBARだからこそ守らなきゃいけない一線みたいのがすごくあって、脱ぎ系でなんでもやるんではない? って思われるのが嫌で、法律を守るとか、おいしいお酒を作るとか、ルールとかもすごくちゃんとしたの。その中でもSTD(性感染症)のことについてはアンテナを張っていて、お客さんと性病のトークになることも多くて、剃毛してる人がいて、なんで剃毛してるの? って話をしたら、その人は普通にファッションだったんだけど、昔毛じらみがどうのこうのって話になって、そーゆう話をフランクに出来るようにしたいし、そーゆう事もあって置きたいと思いました。

Q: 今、お店で(または個人的に)流行っている事はありますか?

A: うち毎週木曜日がゲームデーで、みんなでボードゲームを楽しもうって日なんですけど、裡でね(笑)、棒ゲームとか、最近はやってるのは反射神経使うやつとか、まあどれも簡単なんだけど、ボードゲームが流行ってますね。エロBARなんだけど、エロだけじゃないし、ボードゲームが出来るって来てくれる人達もいっぱいいます。
あとぼくがオセロスーパー強いので、勝てたらなんかあげよう! 万が一勝てたらね。

D: オセロ鍛えて挑戦しに来なきゃ!!

孝: ぜひやりましょう!



Q: 今後、2丁目がどうあって欲しいと思いますか?

A: 色んな人が来やすい街になって欲しい。喧嘩じゃないけど自分のお店だけが儲かればいいみたいな人もいるのかなって、でもそうじゃなくて街なんだよねってコレ作ったんだけど(エロBARマップ)、エロBARっていっぱいあるんですけど、コレに載ってないところも、二丁目でもね。ここに行けばこれがある! っていうお客さんがわかるシンプルな情報……ツールみたいなものがあればいいなって作ったんだけど、今の二丁目には来やすさや、わかりやすさみたいなのが欠けて気がして、ドア開けないとどんなお店かわかんないし、もっとシンプルでわかりやすい、ここに来ればこれがあるっていう知らせられるような冊子でもサイトでもいいんだけど、そういうのがあればいいなって思ってますよ。あと車椅子の人が使えるトイレマップは欲しいですね。あとね、日本人だから仕方ないんだけど、英語は今後必要になってくるので確実に。強制ではないけど、ある程度は出来るようになるべきだねとは思ってますね。今後の二丁目の展望ですけど。

Q: お店の告知や、宣伝等あればお願いします。

A: 毎月最終土曜日がイニシャルDっていう3,000円飲み放題で、DOCKも行き来が出来て朝まで飲めるよってイベントがあります。あとさっき話した本曜日のボードゲームデー!

12/16(土)には3周年パーティーとしてお客様感謝デーを企画しています。